

### 【第2期奈良県スポーツ推進計画 概要】

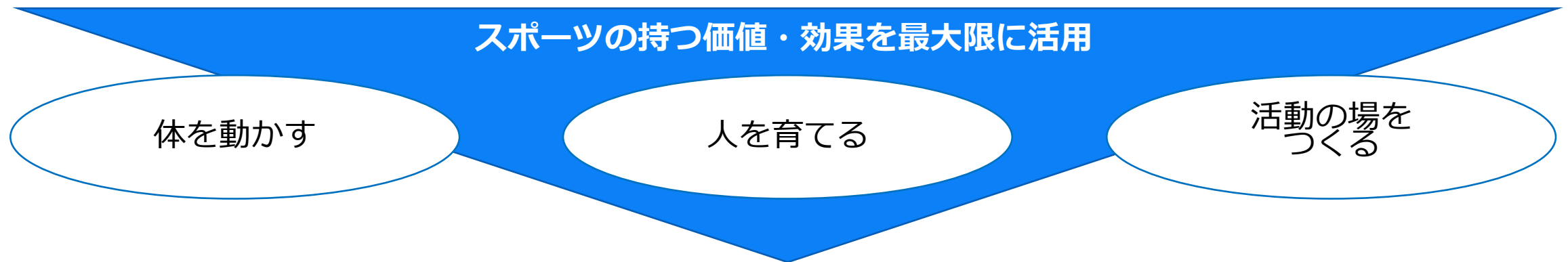
奈良県では、平成25年に策定した「奈良県スポーツ推進計画」に基づき、県民一人ひとりが運動・スポーツによる健康づくりに取り組み、「生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現できるよう、だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくりに取り組んできました。

第1期奈良県スポーツ推進計画が満了を迎えたことから、これまでの取組の結果や成果等を踏まえながら、新たに制定された「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」に基づき、「第2期奈良県スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画では、新たに「体を動かす」「人を育てる」「活動の場をつくる」の3つを柱として施策を展開し、引き続き、「生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を目指すとともに、「持続可能で活力ある地域社会」の実現も目指します。

#### ●スポーツ振興を通じて目指すところ

**「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり」に取り組む**



「生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現

「持続可能で活力ある地域社会」の実現

#### ●計画の期間 令和5年度から令和9年度までの5年間

## ●計画策定の背景

計画策定から10年、新たな時代に対応したスポーツ施策展開に向けて

- ▶ 第1期目「奈良県スポーツ推進計画」（平成25年策定）による成果と課題
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大による新たな生活様式の中で見直された「スポーツ」の役割
- ▶ 国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4年3月）の策定とスポーツをめぐる新たな動き（部活動地域移行など）
- ▶ 2031年（令和13年）国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会の奈良県開催が決定 など

## ●計画の位置づけ

新たに制定された条例等に基づき策定

- ▶ 誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例（令和5年4月施行）に基づき策定するもの
- ▶ 本県におけるこれまでのスポーツ推進の取組の成果や現状を踏まえて策定するもの
- ▶ スポーツ基本法及び国の「第3期スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえて策定するもの

## ●計画の推進体制

PDCA サイクルで効率的に推進（成果指標をもとに評価・分析）

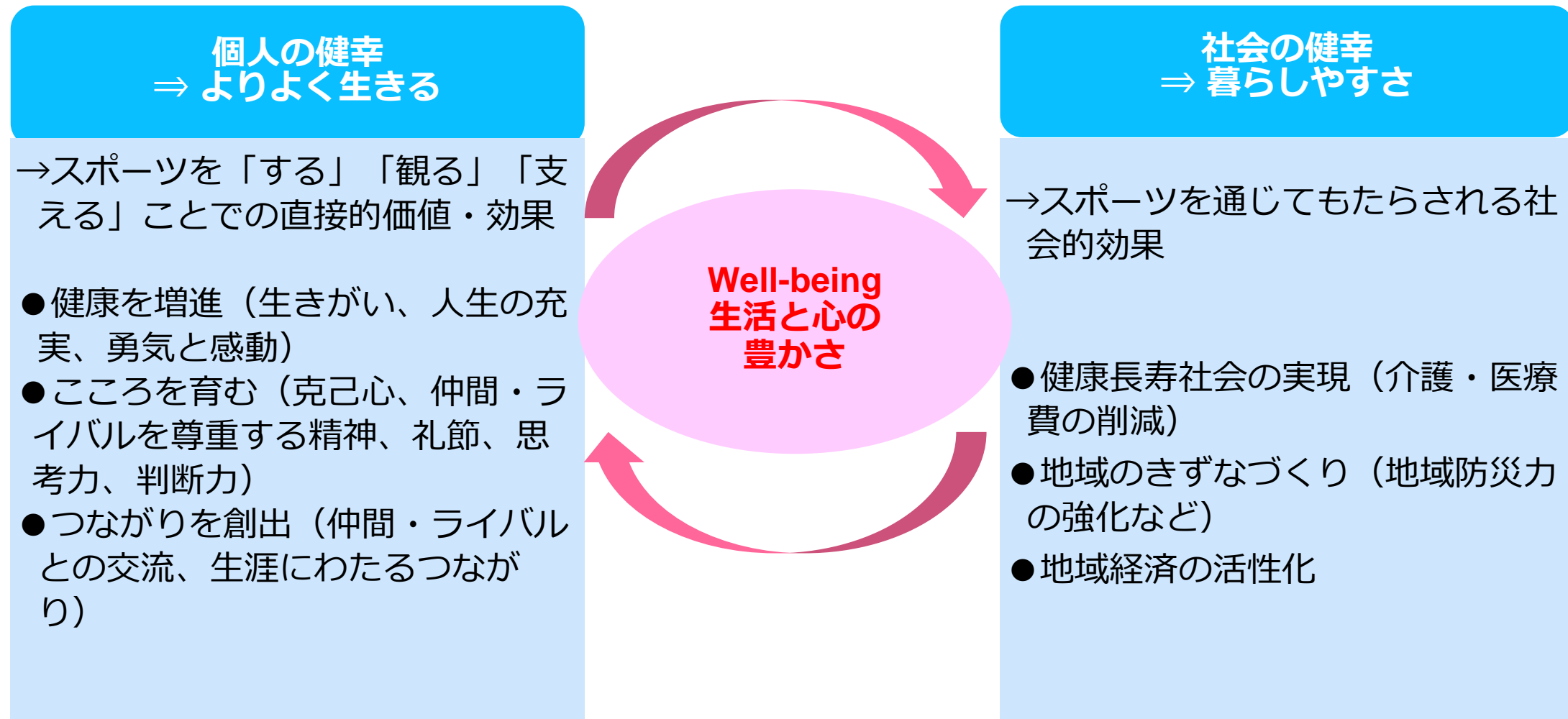
- ▶ 県スポーツ振興課が中心となり、医療・福祉、教育、観光などの関係部局、市町村、スポーツ団体、スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、学校、大学、企業、地域とも連携を図りながら推進します
- ▶ 計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→見直し（Action）というマネジメントサイクルを踏まえ、奈良県スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を確認しながら、事業の評価・点検・見直しに向けた意見聴取を行い、具体的な取組へと反映します
- ▶ 数値で把握できる成果指標を設定し、一年ごとにこれら进行评估・分析して、達成状況を検証し、事業の見直し等を行います

## 【奈良県スポーツ振興のビジョン】

### ■ スポーツの持つ価値・効果

一人ひとりのライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツの持つ価値や効果も多様化しています。本計画では、スポーツの持つ価値や効果を、一人ひとりがよりよく生きるための「個人の健幸」、そして、みんなが共によりよく暮らしていくための「社会の健幸」の2つの側面から捉えています。

これら2つの価値・効果の相乗効果により、一人ひとりの生活や心の豊かさをもたらし、社会全体としても持続可能な幸せ「ウェルビーイング（Well-being）」を感じられる社会の実現を目指していきます。



# 奈良県スポーツ推進計画における指標の推移

## 【スポーツ推進の基本理念】

第2期奈良県スポーツ推進計画の推進にあたっては、次の5つを基本理念として、「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり」に取り組み、県民全体でスポーツ推進を図ります。

1

全ての県民が生涯にわたり自発的かつ継続的にスポーツを楽しむことにより、心身の健康及び体力の向上を通じて健康な生活及び長寿を享受するよう推進します

2

遊びを通じて子どもの豊かな心、身体及び思考力をはぐくむよう推進します

3

県民に夢や希望を与えるアスリートが活躍できるよう支援します

4

全ての県民が安全にかつ安心してスポーツに親しむことができるような環境を整備します

5

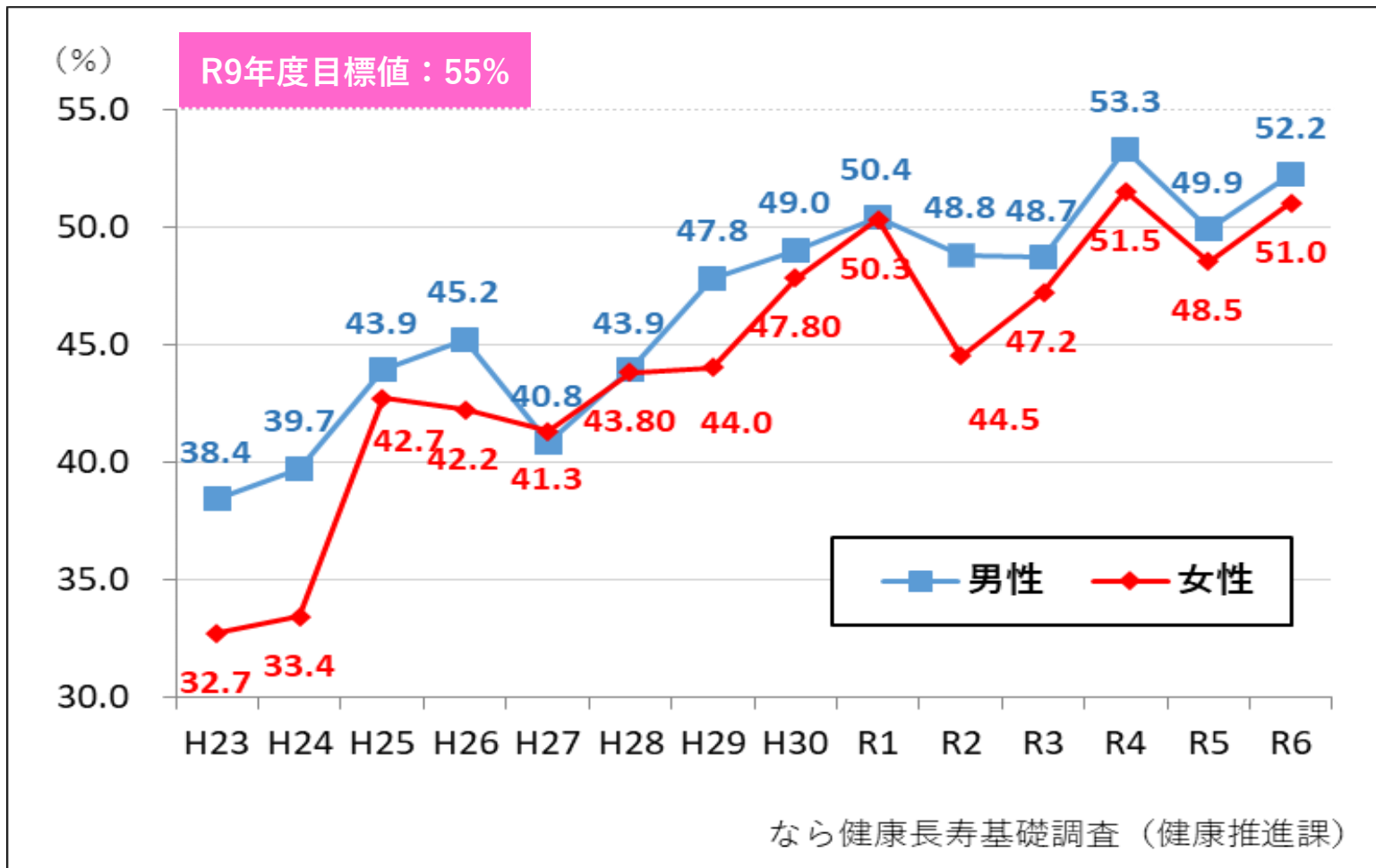
地域の活性化に資するよう、世代間及び地域間の交流並びに国際交流を図ります

## 【基本理念実現の参考指標】

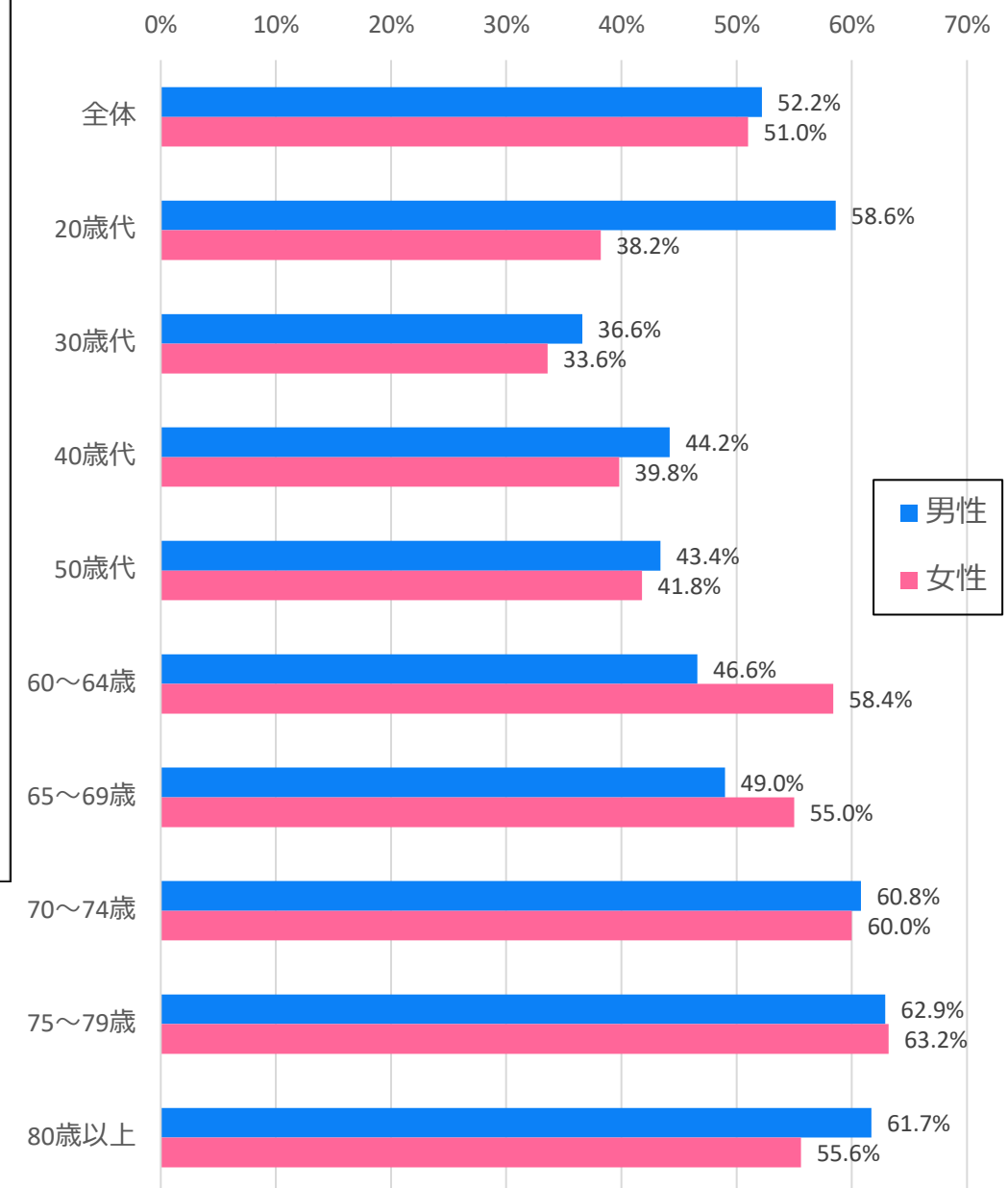
指標名	計画時 (R3年度)	現状 (R6年度)	目標値 (R9年度)	前計画の目標値 (R4年度)
1日合計30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人の割合	男性：48.7% 女性：47.2%	男性：52.2% 女性：51.0%	男性：55% 女性：55%	男性：50% 女性：50%
1年間にスポーツをしない人の割合	39.5%	35.8%	30%	30%

## 【基本目標を実現するための参考指標 1】

1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人（運動習慣者）の割合  
 （あなたは、1日合計30分以上の運動・スポーツをどれくらいの頻度でしていますか。）



（参考）R6年度 年齢別運動習慣者



※運動には、日常生活の中で意識して行う「散歩」、「階段の利用」、「徒歩・自転車通勤」など身体を動かすこと全般を含む

○運動習慣者の割合は、令和元年度に50%を上回ったものの、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度には減少。その後回復し、令和6年度は令和5年度の数値を上回った。

○年齢別に見ると、男女ともに30歳代、40歳代の働き世代・子育て世代の割合が低い。

○特に20歳代～40歳代の女性の割合が30%代と低くなっている。

資料：R6年度なら健康長寿基礎調査（健康推進課）

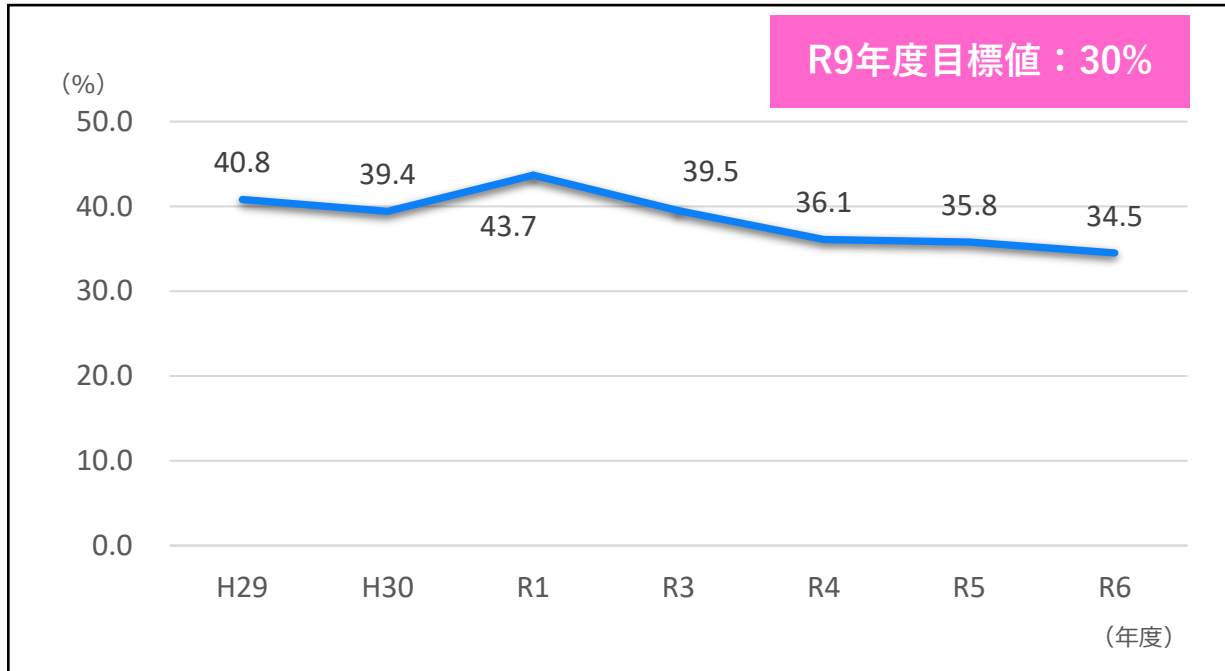
### 調査の概要

・令和6年7月1日現在で県内在住の20歳以上の方から無作為抽出した13,200人を実施  
 （標本抽出は、県内39市町村ごとの人口及び年齢構成に応じて設定）

## 【基本目標を実現するための参考指標2】

### 1年間にスポーツをしない人の割合

(あなたは、1日合計30分以上の運動・スポーツをどれくらいの頻度でしていますか。)



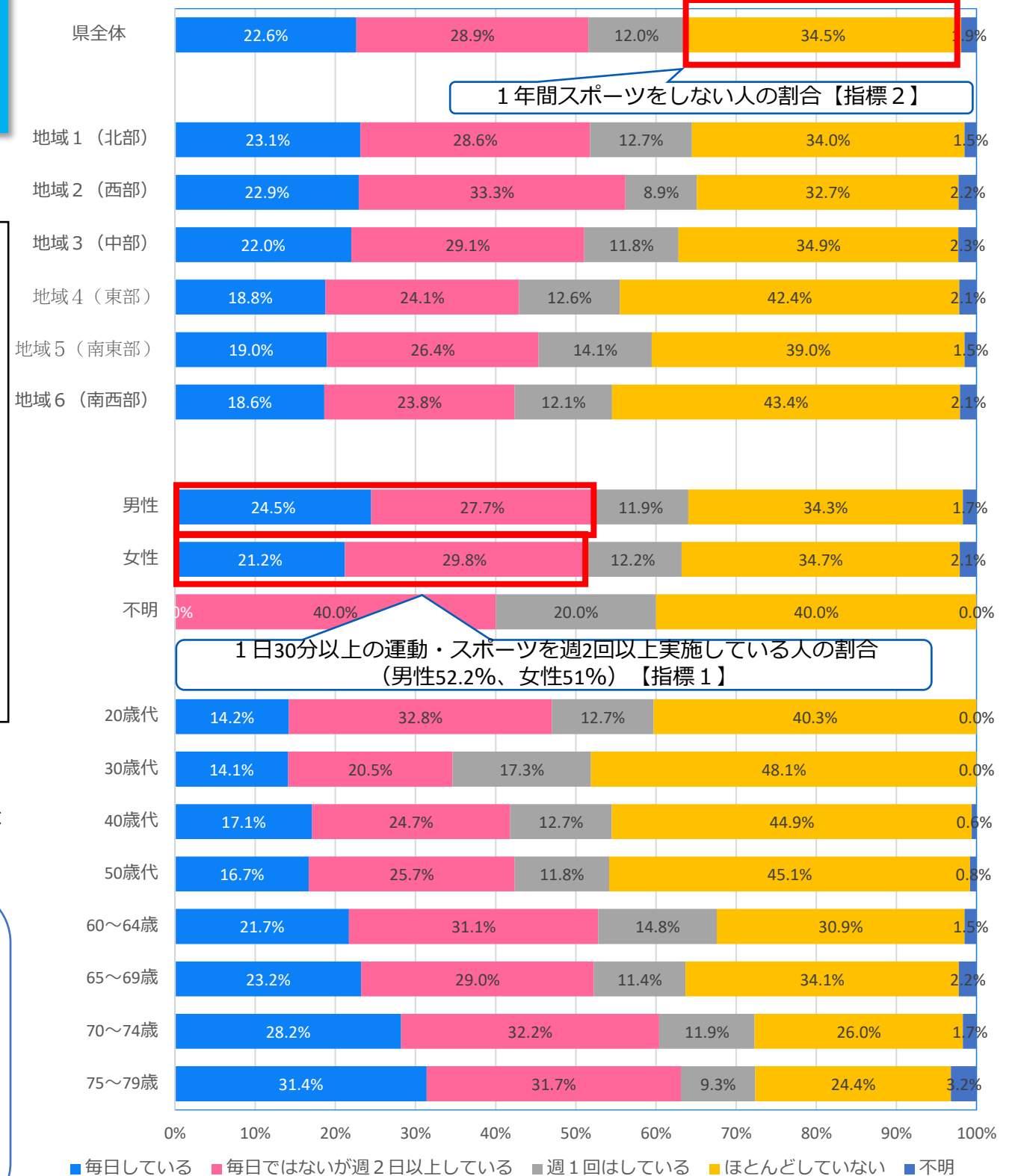
資料：R1年度まで「県民アンケート」（奈良県統計分析課）  
R3年度から「健康長寿基礎調査」（健康推進課）  
※R2年度はアンケート項目に設問がなかったため記載なし。

○1年間にスポーツをしない人の割合は年々減少しているものの、30%にするという目標は未達成。

○地域別では南西部の運動実施頻度が最も低い。

○年齢別では、ほとんどの世代（20代～60代）において1日30分以上の運動をほとんどしない人が3割以上を占めており、目標に達しているのは70代のみである。  
特に20代～50代は4割以上を占めている。

### 1日30分以上の運動の実施頻度

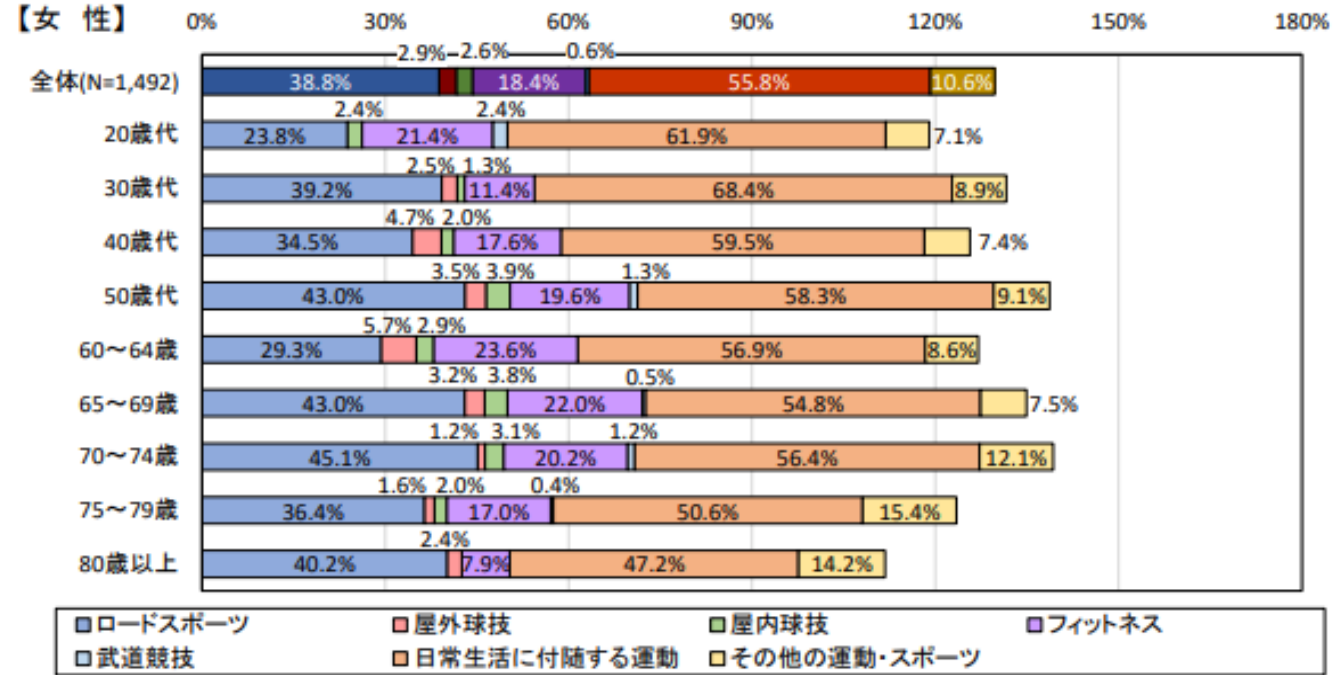
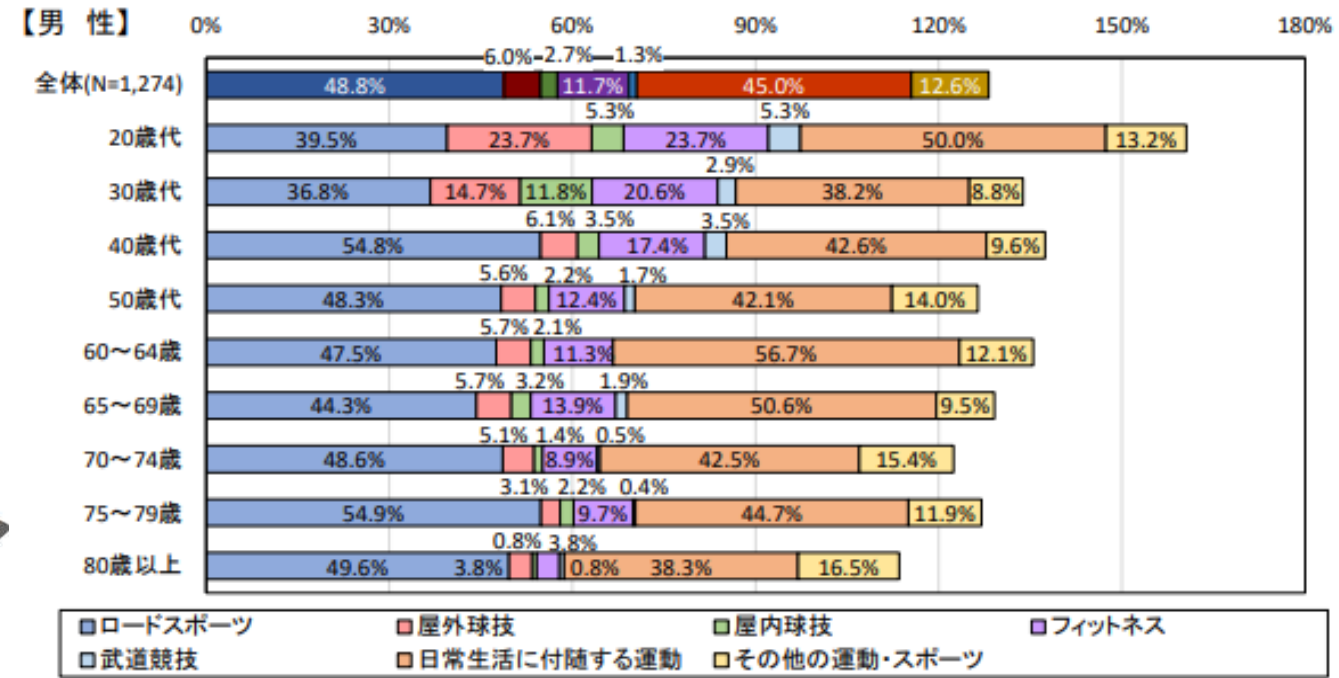


資料：「令和6年度健康長寿基礎調査」（健康推進課）のデータを元にスポーツ振興課で加工

# 奈良県スポーツ推進計画における指標の推移

前ページ「1日30分以上の運動の実施頻度」棒グラフ中の地域の区分

(参考) 1日合計30分以上取り組んでいる運動・スポーツの内容



資料：R6年度なら健康長寿基礎調査（健康推進課）

- ※ 「ロードスポーツ」：ウォーキング・ジョギング・サイクリング・散歩など
- 「屋外球技」：野球・サッカー・テニスなど
- 「屋内球技」：バスケットボール・バレーボールなど
- 「フィットネス」：エアロビクス等の体操・水泳・スポーツジムなど、
- 「武道競技」：柔道・剣道・弓道・空手など
- 「日常生活に付随する運動」：通勤・農作業・運搬作業・買い物など

# 奈良県スポーツ推進計画における指標の推移

## 柱1 スポーツ参加の推進〈体を動かす〉

目標：県民一人ひとりが生涯にわたり、その関心、適性等に応じて自主的かつ主体的にスポーツに親しみ、心身の健康維持・向上を図れる機会をつくります

### 施策指標と指標の推移

### 施策

指標名	計画時 (R3年度)	現 状 (R6年度)	目標年 (R9年度)
総合型地域スポーツクラブの 会員数	14,315人	14,219人	20,000人
子どもの体力合計点 (小5、中2)	小5男:52.33点 小5女:54.24点 中2男:42.14点 中2女:49.26点	小5男:52.77点 小5女:53.90点 中2男:42.47点 中2女:47.35点 (R7)	全国平均以上
運動やスポーツをするのが好 きな子どもの割合 (小5、中2)	小5男:91% 小5女:83.9% 中2男:87.9% 中2女:74%	小5男:92.3% 小5女:83.4% 中2男:90% 中2女:74.4% (R7)	小5男:95% 小5女:90% 中2男:90% 中2女:80%
障がい者スポーツ指導員数	199人	211人	300人
法人格を有する総合型地域ス ポーツクラブの割合	47.1%	55.6%	70.0%
スポーツイベント（交流大 会）の参加者数	1,076人	6,343人	10,000人
1日の総運動時間が60分以上 の割合（小5、中2）	小5:36.9% 中2:68.1%	小5:34.7% 中2:66.1% (R7)	小5:55.0% 中2:75.0%
障害者スポーツ大会における 競技参加者数	486人	538人	1,200人
健康寿命 (65歳平均自立期間)	男性:19.01年 (3位) 女性:21.52年 (21位)	男性:18.90年 (2位) 女性:21.26年 (18位) (R5)	全国1位

### 1 県民参加型スポーツの推進

- (1) 総合型地域スポーツクラブの連携強化
- (2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- (3) 総合型地域スポーツクラブによる学校部活動の受け皿づくり
- (4) 県民が参加しスポーツを楽しむイベントの開催
- (5) 奈良マラソンの開催

### 2 子どものスポーツの推進

- (1) 幼児期のスポーツ（遊び・運動）の推進
- (2) 子どもの体力向上方策の推進
- (3) 学校部活動の地域スポーツクラブ活動への移行
- (4) 子どものスポーツ活動環境の充実

### 3 生涯スポーツの推進

- (1) 子育て世代、働き盛り世代のスポーツの推進
- (2) 女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり
- (3) 高齢者のスポーツ推進

### 4 障害者スポーツの推進

- (1) スポーツを通じた共生社会の実現
- (2) スポーツに取り組む機会の充実
- (3) 障害のある人がスポーツを楽しむことができる環境づくり
- (4) 障害者スポーツを支える人材の育成

# 奈良県スポーツ推進計画における指標の推移

## 柱2 スポーツの推進を支える人材の育成〈人を育てる〉

目標：スポーツの持つ価値や効果が発揮できるよう、アスリート、指導者、ボランティアなどのこれからの奈良県のスポーツ振興を担う人材を育成します

### 施策指標と指標の推移

### 施策

指標名	計画時 (R3年度)	現 状 (R6年度)	目標年 (R9年度)
スポーツ指導者数	2,438人	3,318人	4,000人
研修会・講習会参加者数	33人	320人	500人
国スポの総合成績	天皇杯25位 皇后杯32位 (R4)	天皇杯24位 皇后杯22位 (R7)	20位台定着
スポーツボランティア登録者数	452人	505人	1,000人 もしくは 国スポでの必要数
全国大会1位の奈良県選手の 人数・団体数	22人	47人	80人

#### 1 人材の育成 (コーディネート・マネジメント・指導者)

- (1) スポーツ指導者等、マネジメント人材の確保、養成
- (2) 障害者スポーツ指導者等の養成

#### 2 選手の育成

- (1) 競技団体を通じた競技力の向上
- (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けたアスリートの育成
- (3) 競技スポーツの成績優秀者への表彰
- (4) パラスポーツ選手の発掘・育成
- (5) アスリートとキッズ・ジュニアの交流を通じた競技力の向上

#### 3 サポート体制の整備

- (1) スポーツボランティア等の人材育成
- (2) 生涯スポーツ功労者等への表彰
- (3) 様々な団体が連携したスポーツマネジメント教育の展開
- (4) アスリートのセカンドキャリア形成の支援

#### 4 観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出

- (1) 観るスポーツの機会の創出
- (2) 無関心層等へのスポーツ促進
- (3) 山間部での運動実施率の向上

#### 5 健全性・安全性の確保

- (1) スポーツ団体のガバナンス・コンプライアンスの強化
- (2) スポーツインテグリティの推進

# 奈良県スポーツ推進計画における指標の推移

## 柱3 スポーツに親しめる環境づくりと 地域の交流促進及び地域の活性化〈活動の場をつくる〉

目標：県民の誰もがスポーツに親しめる環境をつくれます。また、県の豊かな自然環境や歴史文化資源を活用したスポーツイベントの開催等により、地域交流の促進、地域の活性化に寄与します

### 施策

#### 1 スポーツ環境の整備

- (1) スポーツ拠点施設の整備
- (2) 民間活力の積極的な活用の検討・推進
- (3) 既存スポーツ施設のファシリティマネジメントの推進
- (4) 身近な公共施設等の整備・活用
- (5) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境配慮型施設整備の推進
- (6) 誰もが気軽にスポーツにふれることができる環境づくり

#### 2 情報発信

- (1) スポーツイベントや施設情報等に関する情報発信力の強化
- (2) デジタル技術を活かしたスポーツDXの推進
- (3) 観光分野と連携したスポーツツーリズムに関する情報の発信

#### 3 地域交流の促進

- (1) プロスポーツチーム等様々な主体と連携した地域との交流の機会づくり
- (2) スポーツキャンプやスポーツ合宿等の誘致
- (3) スポーツを通じた友好交流の促進

#### 4 地域経済の活性化

- (1) 自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進
- (2) 奈良県の魅力資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- (3) スポーツコミッション設立に向けた産官学等の連携方策の検討

#### 5 国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開

- (1) 国スポ・全スポによるレガシー創出に向けた取組検討
- (2) 国スポ・全スポ開催を契機とした環境整備

### 施策指標と指標の推移

指標名	計画時 (R3年度)	現状 (R6年度)	目標年 (R9年度)
橿原公苑年間利用者数	174,653人	285,410人	340,000人
まほろば健康パーク年間利用者数	305,888人	357,004人	330,000人
学校施設一般開放の利用者数	2,656人	3,030人	5,500人
プロスポーツ等の試合数 (有料観戦)	45試合	53試合	60試合